

<第 31 回国家試験に関するアンケート> (合格者)

※ 学習の工夫点・反省点・アドバイス等について

○いつから始めたか

・講座修了後に受験対策を始めたが、もっと早くからやっておかないと厳しいと感じたので、受講中にまずは、「毎年変わるような内容ではない科目」(歴史、社会学、人体など)の受験対策に意識が向くような声かけがあると助かる。

- ・1年半前から始めた。
- ・本腰を入れて勉強し始めたのが、年末からだったので、もう2、3ヶ月早くからでも模擬問題集を繰り返しやれたら、点数が取れたのにと思っている。
- ・本格的に取り組んだのは1月に入ってからだったので、時間が足りなかった。
- ・他試験受験のため、11月初旬から本格スタートという遅いスタートだった。
- ・昨年末に入院していて勉強時間が不足していた。だが、あきらめずに試験にチャレンジして良かった。
- ・受講終了後の11月頃から受験対策した。

○受験対策講座、模擬試験 等

- ・受験対策講座がためになる内容で良かった。
- ・ウォーミングアップテスト、チェックテスト、対策講座、メルマガ、全て活用させてもらった。モチベーションを保つのに大変役立った。
- ・今回の試験では出ない内容が多かった。
- ・あまり活用しなかった。
- ・全て利用した。
- ・頻出項目チェックテストは会場に持って行って、ずっと見ていた。対策講座等受講したかったのだが、日程が合わない&そこまで勉強していないため残念だった。
- ・社協主催の試験対策講座が大変良かった。範囲が広く、独学だとどこにポイントをおいて勉強したらいいのかわからないため、対策講座では、その点を惜しみなく教えてくれるのでぜひ参加してみたい。
- ・試験前に模擬試験が充実していると良いと思った。
- ・レポートの提出でいっぱいだった時期もあり、十分活用できなかったが、受験対策講座は受けて良かったし、ありがたかった。
- ・中野先生の受験対策講座が特によかった。あの日をきっかけに勉強を進めることができた。
- ・試験を受ける上での良いはげみになったが、今回は特に時事問題があったため、幅広い知識として色々な媒体で時事問題に触れるべきだったと思う。
- ・とても参考になった。
- ・模試をまとめて受けられると良い。
- ・どこまで自分が理解できたのかをチェックするために利用した。理解できていないところを中心に(できない科目中心)問題を解く手がかりにしていた。
- ・時間がなく目を通せないものもあったが、メールマガジン等は携帯からでも見ることができ、詳しく説明されていたので良かった。
- ・模擬試験を受けた(問題の傾向、会場の雰囲気を知るため)

- ・受験対策講座に行き、自分の理解不足がわかった。また、他の受講生の方と一緒に学び刺激になった。受験のアドバイスを先生がしてくれ、心の支えになった。
- ・頻出項目テストなど助かった。
- ・受験対策講座でもらった年表は役立った。
- ・模擬試験は1回受けた。時間配分を知るのに役立った。

○学習方法について

- ・1冊にまとまっているテキストを購入し、毎日ひたすら見ての勉強だった(9月下旬～)。過去問5年分を解説を見ながら、3周し(11月下旬～)予想問題3回分を解いて(試験直前の2週間)という感じの学習方法だったが、本番は2択に絞ることができるくらいの感触でまだまだ不安だった。学習範囲が広い試験なので、忘れないように反復学習がマストだと思う。
- ・教材を買いすぎず、一つの教材を繰り返し覚えるまで勉強する。自分に合った教材を選ぶ。勉強する時間を決め、必ず実行する。
- ・過去問を解いて、難しい項目を重点的に勉強した。
- ・参考書と過去問を繰り返し学習した。また、web講座を視聴して、ポイントや難解なところの理解につなげた。模擬テストを受け、時間配分やマークシートの対策を行った。
- ・勉強を開始したのが、最後のレポート提出後の為、時間不足があり、十分学習できなかった科目があった。勉強方法は電車の中、朝早く起きる等、隙間時間を利用して問題を解く、週末は受験対策講座で紹介された動画で勉強を繰り返した。最後の1ヶ月は仕事帰りにカフェで2時間勉強して帰宅。
- ・過去問はそれほど重視せず、どんな問題の出され方をしても困らないように根本から理解できるようテキストから重要ポイントを書き出し、ノートにまとめ、それから問題集を解く、その後にもまた重要ポイントを単語帳に書き写し、空き時間に勉強できるよう工夫した。とても時間がかかり、はかどらない勉強法だと思ったが「書かないと頭に入らない」という私には合った勉強法だった。
- ・ソ教連のウェブ講座で知識を増やした。又、養成所から配られた法律の冊子が大変参考になった。
- ・参考書、問題集は数冊に絞って繰り返し、学習していった。
- ・参考書の繰り返し読み(3回)。過去問トレーニング(5回)。
- ・すき間時間の活用(web講座、アプリの活用)。テキストは枠組み理解のため、通して3回(苦手科目は4回以上)読んだ。最初は(特にこれまで知らなかった分野は)大変だったが、勉強を進めるうちに知識が広がり、つながってやりがいを感じた。
- ・過去問をまず解いて、傾向を把握してから参考書を解いた。
- ・働きながら資格を取るのには本当に大変だが、とにかくコツコツと参考書を読むだけでも違うので、ちょっとしたすき間時間も利用するようにしたら良いと思う。
- ・本番と同じ時間設定での解答することをもっとやっておけば良かった。
- ・過去問、一問一答をひたすら繰り返すのみ。
- ・過去問を解いた。解説付きだったので、教科書を読むよりも身についた気がする。全体的に勉強時間が短かったのも、これからもっと勉強に取り組む。
- ・先生からのアドバイスの通り、お金や時間を惜しまずに学習に励んだ。結果、養成所のセミナー1回、中央法規のセミナー(1日集中、共通科目)各1回ずつの参加を含めて、10月末～170時間勉強した。正直、すぐに勉強モードにはならず、なかなか点数も伸びず焦っていたが、年明けから少しずつ伸びていくのが実感できたので、焦らず、あきらめず継続することが重要だと考える。
- ・2回目のスクーリングの初日まで受験を諦めていたが、講義を受け、絶対に受験し、合格すると覚悟を決めた。残された勉強時間が短かった為、朝4時～6時で過去問、仕事上の空き時間を短期記憶にあて、集中

して取り組んだ。それでも1月中旬まで全く自信が持てなかったが1月下旬、試験直前には6割の正答が出来そうな確信がもてた。

・インターネットで調べ、合格者がどのように勉強して合格に至ったかをリサーチし、数万円をかけて勉強会に通ったり、CDを買い、移動中も聴き続けた。家では過去問を解き、仕事の休み時間も1問は解くようにしていた。

・1日1回過去問+解答合わせ、間違い復習。共通と専門交互で。

・過去問を中心とした試験対策を行った。制度改正が伴う部分については、改正内容の確認も合わせて行っている。

・過去問を中心に勉強をしたが、今回はあまり出題されていなかったように思う。問題に対する正答はわからないが消去法で正答を導いた時、過去問題をしてきた知識が役に立った。時事に関する勉強をあまりしていなかったことが反省点。

・日ソ連のウェブ講座とテキストで試験の概要をつかみ、ユーキャンの「書いて覚える！ワークノート」で重要事項をチェックしたらすでに年明け。1月から過去問（中央法規）を3周した。1周目は正誤を普通に解き、2周目は全体の肢1つずつ誤りの肢として「どこが誤りなのか」をじっくり考え解説を読み、3周目はそれでも間違えた肢部分の解説とワークノート、テキストをあたって補完する事を心がけた。

・問題を解いて、間違えた部分を小六法やワークブックを見て復習した方が短時間で定着する。

・時事問題に関心を持ったり、暗記をもう少し上手にやればもう少し加点が見込めたのではないかな。

・過去問に頼らず、まずはテキストを読み込んで知識をつけた方が良い。合格基準点がとても低いので、要点を絞って勉強すれば合格する。勉強に集中する為、レポートは早く終わらせた方が余裕が持てると思う。

・過去問を中心に繰り返し学習した。ユーチューブで解説などを通勤中繰り返し聴いて学習した。

・とにかく過去問をたくさん解いた。

・テキストと過去問を一周するのに一番最初は3ヶ月かかった。ここが一番しんどかった。その後、模擬試験の見直しも1ヶ月かかってしまった。とにかく時間が足りなかった。記憶が曖昧なまま、試験を受けた感じ。

・過去問題を中心に学習し、受験対策講座を受講したり、全国統一模擬試験を受けた。福祉の仕事をしていながら、夜勤のある職場なので十分な勉強はできなかったが、社会福祉士資格を取得した先輩たちのアドバイスを受けて頑張った。やはり模擬試験は受けたほうが良いと思う。また時間があればテキストをもう一度学習した方が良い。

・もっと制度や理論について学習したかった。はじめて、広い視野をもって考えるきっかけとなった。現場を知っている者が学習を経験することが大変重要なことを知った。スクーリングでも行って欲しい。

・テキストもとてもまとまっていた覚えやすかった。会場模試を2回受けた。時間配分も体感でき、また終わった後の講師の先生の解説もポイントがわかって良かった。覚えにくいところはコピーを取って通勤電車で暗記した。模試の間違えたところは問題の方に書き込んだり、線をひいたりして問題と答えがすぐわかるようにして、試験の前に見直した。

・勉強を始めたのが遅かったため、過去問を解くだけだったが、説明を読んだのが役に立った。

・共通科目を勉強したのが早かったため、試験前に見直す時間があまりなかったため、勉強方法の予定を組む時にその点をよく考えればと思った。福祉計画はワークブックよりも、ウェブにある福祉計画を読んで「この計画がきちんと実行できればどのように良くなるか」というようにイメージをふくらませて読み深めたため、この科目は高得点だった。

・ワークブックを音読して視覚からと聴覚から記憶した。過去問で間違えた所をノートにかき出して覚えた。とにかく毎日、勉強に取り組んだ。

・過去問は何度も繰り返し、試験前は大好きなことを禁止し、勉強に専念する。

・過去問、予想問題をひたすら繰り返す。直前はどうしても間違える問題を切り取り、カードにして持ち歩いて覚えた。

・3ヶ月前からは、1日も休まず机に向かって勉強した。仕事、育児等それぞれ抱えているものがあるが、合格する！という気持ちが1番大切だと思う。

・通信を終了した後に、京都府社協主催の受験対策セミナーを受けた。要点が絞られていて、効率よく学習がすすめられたと思う。

・レポート作成時に、論文を参考資料とし、課題に関係するその他の情報にも目が通せるようにしていた。

・ウェブサイトの「過去問ドットcom」をやった。「学習部屋」というサイトも毎日見た。一冊参考書を買って、中央法規の模擬問題集もやった。日本福祉大で開催していたライセンススクールに行った。

・例年出ている基礎的問題・応用・難解問題をカテゴライズし、基礎・応用を確実に取れるよう勉強する（難解は最悪捨てる）。問題の傾向を掴む。試験までの期間もカテゴライズし、取り組むべき課題や勉強するやり方を時間軸で整理する。

・過去問に取り組んだ。なぜ正解か、なぜ不正解かを理解するようにした。近年の動向などは模試や直前講習でチェックした。

・過去問を早くからやっておけば良かった。

・過去問を中心にアウトプット。時間が無かったので、テキスト熟読はできなかった。

・地元の大学、社会福祉士が開催している試験対策講座を受け、その単元毎に復習過去問を学習して行った。決して無理せず、確実にその単元だけを次の講座までに学習したが、時事問題にはあまり目を向けなかったり、人名は覚えることをしなかったもので、その点がギリギリの合格となったと思う。

・勉強に本腰を入れるのが遅く、最後の方の科目の密度が薄くなってしまった。苦手な科目、ボリュームのある科目はペースが遅くなるので、スケジュールは余裕がある方が良い。

・総合点がもっと取れていると思っていたが、ギリギリの科目があったことに驚いている。常勤勤務の中で、朝・昼・夜と1日中休憩時間を使って問題を解いていたが、広範囲でもあり、暗記は忘れるので理解して落とし込むことにした。自分なりに努力が報われ有り難い。

・1問1答の問題集をメインに受験対策した。通信教育受講中は、レポートを締め切りまでに提出するのがやっとで、受験対策（過去問）などやれていなかったが、同時進行でやっていく方が良いと思う。

○養成所について

・本格的に試験勉強を開始した時期には特に、メールマガジンは心の支えとなった。

・スクーリング日程の自由度が高く、働きながら受講しやすい。学費負担が少ない。学校が良心的で信頼できる。

・学費が高額ではなく、スクーリングも内容が充実している。ウォーミングアップテストや頻出項目チェックテストは勉強の理解度が分かり役立った。又、試験前に重要事項を短時間で確認することができ、役立った。

・合格までのサポート力が弱い。

・受講料も安く、スクーリング内容も良かった。メールマガジンは定期的に送られて来るので、勉強をしなくてはいけない意識が持続できた。

・授業料が安いこと、通信のため、仕事をしながらでも出来る。受験対策講座とメールマガジンを活用した。

・試験対策というより、社会福祉士として必要な倫理、考え方が学べた。メールマガジンに勇気づけられた。

・受講してみて、結果として出せたので満足度が高い。スクーリングの先生や講座の内容、クラスの雰囲気も良く、そのおかげで最後まで頑張れた。

・試験のサポートが良かった。

- ・費用が他に比べて割安。メールマガジンは意欲の継続につながった。
- ・フォローも良く、しっかりした教育という印象。
- ・費用がおさえられ、かつきっちりとフォローしてくれる。無駄な宣伝等がなく、シンプルで信用できる。
- ・働きながらのぞみやすい。
- ・安価でスクーリングの内容もためになる。
- ・メールマガジンはとても励みになった。
- ・スクーリングの会場が遠い（岡山→大阪で受講）
- ・教育訓練給付の制度を知らず、自己負担で受講したことが残念だった。
- ・社会人として必要な知識の習得に役立つ。メールマガジンは楽しく読めたが、配信の回数が少ないと感じた。
- ・料金が安い。
- ・スクーリングが良かった。レポートの量も適切。よい仲間に出会えた。
- ・他と比べ、低価格。
- ・スクーリングの先生が二人とも素晴らしい方だった。
- ・「年表」が何より役立っており、深く感謝している。
- ・働きながら取得しやすい。
- ・受験対策のメールは大変役に立った。
- ・学費が安く勉強できるから。
- ・合格するには内容が全然足りない。学校全体の合格率を上げるには工夫が必要。
- ・費用が安くて内容もシンプルな為、とても良い。メールマガジンのコメント、アドバイスを見て、試験までの期間を実感できて良かった。
- ・メールにて毎回テストを 1 問出題されることは大変楽しみにしていた。メールに事務手続きの記載は毎回でなくても良いと思う。
- ・メールマガジンのコラムは楽しかった。レポートの内容と試験勉強の内容が全くの別物だった。試験の問題に問題作成者の強いメッセージが込められているとすれば、わかりやすくそれを含めた課題内容が良いかと思った。
- ・スクーリングがとても楽しかった。講師の先生もすばらしかったし、一年次、二年次とクラスのメンバーが同じだったので、受験まで励まし合えた。また、時期も 7、8 月で参加しやすかった。
- ・講座は通信のせいか、相互のやりとりがないので単調であったため、途中意欲が薄れた。
- ・中野先生のご指導がとてもよかった。協会の方々が生徒に対して親身になってくださる印象。スクーリングの場所も講師の先生も良かった。メールマガジンを毎週楽しみにしていた。励みになった。
- ・スクーリングの内容が良かった。
- ・費用が他に比べ、安かった。フォローもしっかりしていてスクーリングの先生方も良かった。
- ・スクーリングの時にていねいな授業を進めて頂いたことで、現職の意識も強くできた所と福祉の重要性を考えることができた。
- ・メールマガジンは本を開けない電車の中で気軽にみることができて不安を解消させるのに役立った。
- ・教育訓練給付制度の対象となっている。スクーリングの講師の話がこれからの対人援助の役に立つものだった。
- ・メールで定期的に情報いただき、手をつけられなかった時も、思い出して再び取り組むことができた。
- ・基本的知識を学ぶ講座としては非常に良いが、コスト、時間も多く割くことになるため。
- ・ウォーミングアップテストはやろうとしたが全部は出来なかった。頻出項目チェックテストで自分の理解不足がわかった。メールマガジンは毎週とても励みになった。

- ・とてもいい先生ばかりで楽しいスクーリングだった（滝口、島村、柳田、高山先生ありがとう）
- ・受講料が他より安い。教育訓練給付が受けられる。中野先生がいらっしゃる。定期的に届くメールマガジンでモチベーションを保つことができた。

○当日のこと

- ・試験前のメールマガジンの内容が非常に役に立った。おかげで当日、準備をしっかりと整え、試験に挑むことができた。
- ・試験当日の心構えをメルマガで配信してもらってとても助かった。